

日本国際政治学会 2010 年度研究大会分科会プログラム

◆ 10月29日（金）

分科会セッションA（15：45～17：15）

A-1 日本外交史 I 責任者 庄司潤一郎（防衛研究所）

テーマ 戦争と対外認識

司会 小谷賢（防衛研究所）

報告 関誠（帝塚山大学）

「日清戦争以前の日本陸海軍の対外認識」

菅原健志（英国イースト・アングリア大学）

「イギリスの対日評価と日本の対英軍事支援問題―日露戦争から第一次世界大戦まで」

討論 森田吉彦（帝京大学）

等松春夫（防衛大学校）

A-2 欧州国際政治史・欧州研究 I 責任者 鈴木一人（北海道大学）

テーマ 欧州統合の構成主義的分析

司会 臼井陽一郎（新潟国際情報大学）

報告 東野篤子（筑波大学）

「トルコの EU 加盟プロセスをめぐる規範的アプローチの再検討」

中川洋一（ヨハン・ヴォルフガング・ゲーテ・フランクフルト大学）

「21世紀におけるドイツの対外安保政策上の『役割』と方向性の変容」

討論 臼井陽一郎（新潟国際情報大学）

A-3 東アジア I 責任者 星野昌裕（南山大学）

テーマ 現代韓国の政治と外交

司会 平岩俊司（関西学院大学）

報告 崔慶原（慶應義塾大学）

「1968年危機への対応と日韓安保協力の模索」

松田春香（大妻女子大学）

「米軍政下南朝鮮における朝鮮国防警備隊創設過程」

討論 李鍾元（立教大学）

李鐘國（東北亜歴史財団）

A-4 東南アジア I 責任者 高橋正樹 (新潟国際情報大学)

テーマ 自由論題

司会 高橋正樹 (新潟国際情報大学)

報告 永井均 (広島市立大学)

「フィリピンによる対日戦犯裁判と赦免 1947-1953 年」

青木まき (アジア経済研究所)

「グローバル化への対応としての地域協力圏によるインドシナ地域主義の意図と背景」

討論 高橋正樹 (新潟国際情報大学)

A-5 理論と方法 I 責任者 鈴木基史 (京都大学)

テーマ 国際紛争のゲーム理論分析

司会 鈴木基史 (京都大学)

報告 芝井 清久 (統計数理研究所)

「交渉分析における零和 $n+1$ 人ゲームの概念と効用」

西館崇 (東京大学)

「1990 年代の朝鮮半島問題における日米韓の安全保障協力『両性の闘い』からの分析」

浜中新吾 (山形大学)

「紛争抑止と世論—進化ゲーム理論によるイスラエルの対レバノン政策の研究」

討論 鈴木基史 (京都大学)

A-6 政策決定 I 責任者 我部政明 (琉球大学)

テーマ 自由論題

司会 上村直樹 (広島市立大学)

報告 金ゼンマ (早稲田大学)

「日本と東アジア地域統合—FTA 政策決定過程分析から」

畠山京子 (関西外国語大学)

「日本の PKO 政策決定過程と国際規範の定着」

討論 上村直樹 (広島市立大学)

分科会セッション A・B (15:45~19:30)

A・B-1 安全保障 I 責任者 石川卓 (防衛大学校)

テーマ 安全保障の理論研究

司会 泉淳 (東京国際大学)

報告 福田潤一（東京大学）

「階層性と同盟政治—1951年から2001年までの米国の同盟関係を題材に」

中村覚（神戸大学）

「オムニバランス論の研究—『第三世界諸国』の勢力均衡パターンの理論的考察」

長谷川将規（湘南工科大学）

「経済安全保障—経済は安全保障にどのように利用されているのか」

討論 大芝亮（一橋大学）

林光（早稲田大学）

泉淳（東京国際大学）

A・B-2 トランスナショナルI・II 責任者 鎌田真弓（名古屋商科大学）

トランスナショナルI

テーマ 国際関係における「境界」の問い直し

司会 飯笹佐代子（東北文化学園大学）

報告 川久保文紀（中央学院大学）

「国境のセキュライゼーション—米墨国境における動向を中心に」

竹内雅俊（高崎経済大学）

「新たな『文明の基準』論と『国境の引き直し』—冷戦以降の不承認論の展開を素材として」

討論 渡部淳（北海道文教大学）

トランスナショナルII

テーマ グローバルな人の移動管理体制と地域統合

司会 飯笹佐代子（東北文化学園大学）

報告 岡部みどり（上智大学）

「人の移動の『マネジメント』をめぐるグローバル秩序とEU」

石井由香（立命館アジア太平洋大学）

「東南アジアにおける人の移動管理—ASEAN 地域統合と国家主権」

討論 八谷まち子（九州大学）

明石純一（筑波大学）

分科会セッションB（17:30~19:30）

B-1 東アジア国際政治史I 責任者 家近亮子（敬愛大学）

テーマ 東アジア冷戦史の新断面

司会 川島真（東京大学）

報告 鹿錫俊（大東文化大学）

「『蒋介石日記』から見る旧日本軍人への処遇問題—大陸からの送還と台湾への招聘を事例として」

西田竜也（広島市立大学）

「東アジアにおける集団防衛同盟設立の可能性—西太平洋条約の経験から」

小林聡明（東京大学）

「沖縄返還とラジオ放送」

討論 石川誠人（立教大学）

川島真（東京大学）

B-2 欧州国際政治史・欧州研究Ⅱ 責任者 鈴木一人（北海道大学）

テーマ 国際安全保障秩序の変動期におけるヨーロッパ

司会 小川浩之（東京大学）

報告 細田晴子（東京外国語大学）

「スペインの NATO 加盟への軌跡—中東紛争と地中海情勢を中心に（1953—82年）」

篠崎正郎（防衛大学校）

「英国の『スエズ以東』撤退政策、1968—75年」

細谷雄一（慶応義塾大学）

「『国際連合』の起源とイギリス外交、1941—45年—「大同盟」・戦後構想・世界秩序」

討論 水本義彦（二松学舎大学）

小川浩之（東京大学）

B-3 アメリカ政治外交Ⅰ 責任者 菅英輝（西南女学院大学）

テーマ カーター政権とアジア

司会 村田晃嗣（同志社大学）

報告 清水文枝（明治大学）

「カーター政権期における対比政策—在比米軍基地協定改定交渉」

永田伸吾（金沢大学）

「カーター政権によるアメリカの『アジア回帰』—カンボジア国連代表権問題への対応を巡って」

討論 伊藤裕子（亜細亜大学）

B-4 東アジアⅡ 責任者 星野昌裕（南山大学）

テーマ 現代中国の政治と外交

司会 下野寿子（北九州市立大学）

報告 海老原毅（富山高等専門学校）

「江沢民政権期における中国の対日政策と日中関係」

李彦銘（慶應義塾大学）

「小泉政権期における日本経済界の対中認識—『政冷経熱』現象に関する一考察」

諏訪一幸（静岡県立大学）

「中国の党国体制—その国家機構」

討論 小嶋華津子（筑波大学）

B-5 理論と方法Ⅱ 責任者 鈴木基史（京都大学）

テーマ グローバル公共財学の構築に向けて

司会 田所昌幸（慶應義塾大学）

報告 藤本茂（防衛大学校）

「グローバル公共財の理論」

石黒馨（神戸大学）

「グローバル公共財の政策」

瀬島誠（大阪国際大学）

「グローバル公共財のシミュレーション分析」

討論 竹内俊隆（大阪大学）

山本和也（早稲田大学）

B-6 国際政治経済Ⅰ 責任者 山田敦（一橋大学）

テーマ グローバル化と国内政治の連携・再編

司会 太田宏（早稲田大学）

報告 草野大希（埼玉大学）

「グローバル化の進展と民主化の停滞—民主化をめぐる『パワー』と『アイデア』の変化」

高木綾（二松学舎大学）

「金融のグローバル化と国家安全保障の優先順位—米国の対内直接投資の受け入れを事例として」

藤田泰昌（上智大学）

「日本国内の国際政治意識の変容—テキストマイニングによる多面的検証」

討論 沖村理史（島根県立大学）

B-7 平和研究 責任者 野崎孝弘（大阪経済法科大学）

テーマ グローバル・ガバナンスの文脈化と抵抗の可能性

司会 野崎孝弘（大阪経済法科大学）

報告 山口治男（神戸大学）

「地球環境ガバナンスへの『ローカルな』主体の回収とその功罪—インドネシアにおける森林法執行アプローチを事例として」

前田幸男（国際基督教大学）

「(ネオ)リベラルな世界秩序を支えるアメリカの刑務所—構造的・文化的・直接的暴力による一般的知性の活用」

討論 堀芳枝（恵泉女学園大学）

大津留（北川）智恵子（関西大学）

◆ 10月30日（土）

分科会セッションC（13：30～15：10）

C-1 東アジア国際政治史Ⅱ 責任者 家近亮子（敬愛大学）

テーマ 日中戦争拡大の要因—日中双方からの視点

司会 嵯峨隆（静岡県立大学）

報告 望月敏弘（東洋英和女学院大学）

「日中戦争の拡大—第二次上海事変と南京国民政府」

森靖夫（京都大学）

「日中戦争の拡大—速戦即決論と総力戦論」

討論 劉傑（早稲田大学）

家近亮子（敬愛大学）

C-2 欧州国際政治史・欧州研究Ⅲ 責任者 鈴木一人（北海道大学）

テーマ 欧州統合の「複数性」

司会 鈴木一人（北海道大学）

報告 遠藤乾（北海道大学）

「ヨーロッパ統合史のフロンティア」

板橋拓己（成蹊大学）

「『黒いヨーロッパ』—ヨーロッパ統合史とキリスト教保守主義」

黒田友哉（Cergy-Pontoise 大学）

「ヨーロッパ統合の裏側で—脱植民地化の中のユーラフリカ」

討論：大竹弘二（南山大学）

C-3 アメリカ政治外交Ⅱ 責任者 菅英輝（西南女学院大学）

テーマ アメリカ合衆国とサイバーセキュリティ

司会 滝田賢治（中央大学）

報告 土屋大洋（慶應義塾大学）

「米国におけるサイバーセキュリティ対策の進展とその背景」

討論 浅野亮（同志社大学）

坪内淳（山梨大学）

C-4 ロシア東欧 責任者 中野潤三（鈴鹿国際大学）

テーマ 自由論題

司会 中野潤三（鈴鹿国際大学）

報告 西住祐亮（中央大学）

「チェチェン紛争とアメリカ『介入推進勢力』の政治活動とその意義・限界」

佐藤圭史（北海道大学）

「ユーラシア空間における『破綻国家』と『非承認国家』問題の再検証—グルジア、モルドヴァ、アゼルバイジャンのケースを中心に」

岡田美保（日本国際問題研究所）

「ロシアの脅威認識とユーラシアの安全保障—軍備管理の可能性と限界」

討論 廣瀬陽子（慶應義塾大学）

兵頭慎治（防衛研究所）

C-5 アフリカ 責任者 遠藤貢（東京大学）

テーマ 紛争と民主化

司会 遠藤貢（東京大学）

報告 津田みわ（アジア経済研究所）

「ケニアにおける『2007年選挙後暴力』」

佐藤章（アジア経済研究所）

「コートディヴォワールの有権者登録論争」

討論 佐藤誠（立命館大学）

C-6 安全保障Ⅱ 責任者 石川卓（防衛大学校）

テーマ 1980年代における日米安保のグローバル化

司会 石川卓（防衛大学校）

報告 道下徳成（政策研究大学院大学）

「米国の『海洋戦略』と日本のグローバル・コミットメント」

瀬川高央（北海道大学）

「核軍縮交渉における日米協力—INF グローバル・ゼロと核抑止の維持」

討論 神谷万丈 (防衛大学校)
田所昌幸 (慶應義塾大学)

C-7 国際政治経済Ⅱ 責任者 山田敦 (一橋大学)

テーマ G8 サミットにおける多国間外交

司会 山田敦 (一橋大学)

報告 猪口孝 (新潟県立大学)

「G8—失樂園？」

信田智人 (国際大学)

「G8洞爺湖サミットにおける議長国としての日本のリーダーシップ—気候変動問題を
を中心に」

鈴木均 (新潟県立大学)

「欧州統合史における多国間外交の経験蓄積とサミット誕生の歴史—日 EC 貿易摩擦
を題材として」

討論 小倉和夫 (国際交流基金)

C-8 政策決定Ⅱ 責任者 我部政明 (琉球大学)

テーマ 密約をめぐる日米関係

司会 石井修 (一橋大学)

報告 信夫隆司 (日本大学)

「若泉敬と沖縄核密約」

菅英輝 (西南女学院大学)

「世論と日米『核密約』」

太田昌克 (共同通信社)

「『同盟管理政策』としての日米核密約」

討論 なし

C-9 トランスナショナルⅢ 責任者 鎌田真弓 (名古屋商科大学)

テーマ 非国家主体によるセキュリティー・ガバナンスの可能性—アジアとアフリカの視
点から

司会 塩原良和 (慶應義塾大学)

報告 重政公一 (関西学院大学)

「アジア太平洋地域におけるトラック 2 チャンネルによるセキュリティー・ガバ
ナンスの構築—ASEAN-ISIS、CSCAP を中心に」

山根達郎 (広島大学)

「『国家の失敗』におけるセキュリティー・ガバナンスの構築—アフリカの事例を中

心に」

討論 古川浩司 (中京大学)

C-10 ジェンダー 責任者 磯崎典世 (学習院大学)

テーマ ジェンダーの国際政治

司会 磯崎典世 (学習院大学)

報告 竹中千春 (立教大学)

「女盗賊プーランと女性州首相マヤワティ—現代インドの暴力と民主主義」

富田晶子 (日本貿易振興機構)

「女性の政治的エンパワーメント測定に関する一考察—新 GEM 指標作成を通じて」

討論 田村慶子 (北九州市立大学)

磯崎典世 (学習院大学)

◆ 10月31日 (日)

分科会セッションD (9:30~11:00)

D-1 東アジア国際政治史Ⅲ 責任者 家近亮子 (敬愛大学)

テーマ 1940年代後半の中国をめぐる国際関係

司会 高橋伸夫 (慶應義塾大学)

報告 林大輔 (慶應義塾大学)

「米中・英中友好通商航海条約交渉、1945-1948年—在華権益をめぐる英米の経済外交」

杜崎群傑 (中央大学)

「建国期中国共産党の国際的正当性確保過程—1947-1949年の中国国内政治における中ソ関係の影響を中心に」

討論: 松村史紀 (大阪国際大学)

高橋伸夫 (慶應義塾大学)

D-2 中東Ⅰ 責任者 松永泰行 (東京外国語大学)

テーマ 中東和平とパレスチナ政治の動態

司会 松永泰行 (東京外国語大学)

報告 辻田俊哉 (大阪大学)

「非対称紛争の管理問題と中東和平プロセスの行き詰まり」

清水雅子 (上智大学)

「パレスチナの社会変動とハマースの包括政党化」

錦田愛子 (東京外国語大学)

「第一次インテリファードにおけるパレスチナ指導部の動態とエリート・大衆関係」

討論 立山良司（防衛大学校）

D-3 国際統合 責任者 児玉昌己（久留米大学）

テーマ 自由論題

司会 児玉昌己（久留米大学）

報告 原田徹（駒澤女子大学）

「経済統合のあり方に対するヨーロッパの政治的妥協バランスの持続性と変容—EUのリスボン戦略の再検討と次期戦略構築プロセスの動向を通じて」

Min Shu [舒旻]（早稲田大学）

“The Clash between Nationalism and Regionalism : Comparing France’s Referendum on the Constitutional Treaty and China’s Protest against Japanese history textbook”

討論 なし（フロアーとの意見交換）

D-4 安全保障Ⅲ 責任者 石川卓（防衛大学校）

テーマ インドの安全保障政策

司会 伊藤融（防衛大学校）

報告 溜和敏（中央大学）

「冷戦後インドの安全保障政策における国内政治要因—核政策を事例に」
清田智子（拓殖大学）

「インドの兵器国産化戦略—『自助』の確立と第3層国家からの脱却？」

討論 伊豆山真理（防衛研究所）

伊藤融（防衛大学校）

分科会セッションD・E（9：30～12：45）

D・E-1 日本外交史Ⅱ 責任者 庄司潤一郎（防衛研究所）

テーマ 戦後日米関係の諸相

司会 庄司潤一郎（防衛研究所）

報告 吉田真吾（日本学術振興会）

「安保改定とSCCの設置—1955—1960年」

千々和泰明（防衛研究所）

「戦後日米関係における外交官の役割—駐米大使・駐日大使を中心に」

畑野勇（海洋政策研究財団）

「日本外交史における軍事技術の役割—技術移転を通じた同盟関係の形成」
討論 北岡伸一（東京大学）

D・E-2 アメリカ政治外交Ⅲ 責任者 菅英輝（西南女学院大学）

テーマ アメリカ合衆国とベトナム戦争

司会 藤本博（南山大学）

報告 佐藤 真千子（静岡県立大学）

「フリーダム・ハウスとベトナム戦争—ジョンソン政権期を中心に」

水本義彦（二松学舎大学）

「ベトナム和平交渉とラオス、1969—1973」

手賀裕輔（慶應義塾大学）

「米中ソ戦略トライアングルとベトナム和平交渉(1971—1973)—ニクソン政権の和平構想をめぐる論争の再検討」

討論 森聡（法政大学）

梅崎透（フェリス女学院大学）

D・E-3 ラテンアメリカ 責任者 内田みどり（和歌山大学）

テーマ ブラジル—「ルーラ外交」8年の軌跡と検証

司会 内田みどり（和歌山大学）

報告 子安昭子（上智大学）

「対先進国外交—米国を中心に」

堀坂浩太郎（上智大学）

「南南外交—IBSA とメルコスール」

西脇靖洋（上智大学）

「文化圏外交—CPLP（ポルトガル語諸国共同体）を中心に」

舛方周一郎（上智大学）

「環境外交—気候変動をめぐる対応の変化」

討論 内田みどり（和歌山大学）

D・E-4 国際政治経済Ⅲ 責任者 山田敦（一橋大学）

テーマ 対外経済政策の新たな分析アプローチ

司会 山田敦（一橋大学）

報告 宇田川光弘（上智大学）

「国内政治の開発援助政策に与える影響—日本の政権交代からの考察」

鈴木一敏（広島大学）

「国際交渉における国内制度と取扱レベル—日米構造協議の分析」

籠谷公司 (Trinity College Dublin)

「Signaling, Trade, and Alliance Commitment in Crisis」

田巻宏将 (群馬県立高崎商業高等学校)

「ASEAN+3 の金融協力—アイデアの制度化の視点から」

増永真 (東京大学)

「為替市場と国家—構成主義的視点による日米通貨交渉の事例研究」

討論 栗栖薫子 (神戸大学)

大庭三枝 (東京理科大学)

D・E-5 環境 責任者 阪口功 (学習院大学)

テーマ 気候変動ガバナンスの新展開

司会 阪口功 (学習院大学)

報告 石井敦 (東北大学)、(共同執筆者: オルフ・ラングヘレ オルフ[スタヴァンガー大学])

「政策統合に向けて—日本とノルウェーにおける炭素隔離技術政策の評価と比較分析」

柏木志保 (筑波大学)

「持続可能な社会構築に向けたガバナンスと市民社会に関する考察—フィリピン 3 都市における廃棄物処理政策を事例として」

鄭方婷 (東京大学)

『パリ・ロードマップ』から『コペンハーゲン合意』へ—気候変動をめぐる国際交渉と国連プロセスに関する検討」

討論 田村堅太郎 (地球環境戦略研究機関)

松本泰子 (京都大学)

山田高敬 (首都大学東京)

D・E-6 若手研究者・院生研究会コーカス 責任者 三牧聖子 (早稲田大学)

テーマ 世界政治における秩序とその諸相

司会 白川俊介 (九州大学)

報告 池上大祐 (久留米大学)

「太平洋島嶼地域のなかのアメリカ—米軍基地と植民地主義をめぐる」

千知岩正継 (北九州市立大学)

「世界秩序における『正当な権威』の条件—国連安保理 VS 『民主主義諸国の協調』」

渡部淳 (北海道文教大学)

「世界政治における権力・権威の私化と世界秩序—私的勢力によるグローバルな寡占の批判的検討」

五十嵐元道 (北海道大学)

「平和構築の批判的アプローチと、その世界秩序への示唆」
討論 菅英輝（西南女学院大学）
山田哲也（南山大学）
勝間田弘（早稲田大学）

分科会セッションE（11：15～12：45）

E-1 中東Ⅱ・東南アジアⅡ 責任者 松永泰行（東京外国語大学）・高橋正樹（新潟国際情報大学）

テーマ 路上抗議行動と民主政治

司会 酒井啓子（東京外国語大学）

報告 松永泰行（東京外国語大学）

「公的主張の政治と政治変動—概観とイランの緑運動」

玉田芳史（京都大学）

「黄シャツ vs 赤シャツの街頭政治—選挙政治の否定と不安定」

討論 酒井啓子（東京外国語大学）

高橋正樹（新潟国際情報大学）

E-2 安全保障Ⅳ 責任者 石川卓（防衛大学校）

テーマ 紛争予防と安定化

司会 宮岡勲（慶應義塾大学）

報告 山本真智子（在ベルギー日本国大使館専門調査員）

「NATOの『予防外交』—2010年戦略概念の策定議論を巡る考察」

青井千由紀（青山学院大学）

「安定化活動—成功の条件としての正当性」

討論 宮岡勲（慶應義塾大学）

小林正英（尚美学園大学）

E-3 国際交流 責任者 牧田東一（桜美林大学）

テーマ 敗戦国の国際文化交流

司会 平野健一郎（国立公文書館アジア歴史資料センター）

報告 川村陶子（成蹊大学）

「冷戦期西ドイツの対外文化政策—「外交の第三の柱」の形成」

浅野豊美（中京大学）

「戦後日本の国民再統合と『贖罪』をめぐる対外文化政策—失われた地域と彷徨う記憶」

討論 篠原初枝（早稲田大学）
渡辺靖（慶應義塾大学）

E-4 国連研究 責任者 星野俊也（大阪大学）

テーマ 国連研究の新潮流

司会 星野俊也（大阪大学）

報告 大庭弘継（南山大学）

「保護する責任に潜む陥穽—PKOの現場というブラックボックス」

真嶋麻子（津田塾大学）

「グアテマラにおける『現地化』政策からみた国連開発計画（UNDP）」

討論 星野俊也（大阪大学）